

夏の暑さもやわらぎ、秋の匂いが感じられる気持ち良い風が感じられるようになりました。

今回は、

『ドラえもんキャラクタータイプ別 新人教育術』

を紹介します。

医療関連感染対策の総合専門誌

INFECTION CONTROL(インфекションコントロール)

2016年9月号に掲載されています。本誌のほうでは、もっとたくさんの例題もあり、楽しくも読めてより詳しく掲載されています



新人教育や動物のオーナーさんへの対応で役立つ「コーチング」スキルについて、誰もが知っている「ドラえもん」のキャラクターを例に学ぶというものです。

〇〇タイプと割り切れるものではなく、楽しみながら読んでください。さて、あなたはどのタイプ？あなたの新人さんは？

「コーチング」って何？

コーチングとは、一言で言うと「相手が目標を達成するための方法」となります。

新人の場合は、「やる気がない」のではなく「目標達成に向けてどう頑張ればいいのか分からない」状況にあります。そんな新人さんをサポートすることがコーチングになります。

ドラえもんタイプ



悪気なく余計なひと言を言ってしまう

キャラクター紹介

言わずと知れた主人公、ドラえもん。彼はもともとは子守ロボットとして派遣されたのですが、のび太君とはすでに「友だち」

のような関係を築いています。ただ、のび太君へのサポートについて見ると、特徴的なところがあります。

ドラえもんタイプに潜む問題点

意外に思うかも知れませんが、原作のドラえもんは実に毒舌家です。のび太君に対して、「アホか、君は」「頭悪いなあ・・・」などの暴言を平気で言い放ちます。

彼とのび太君とは固い友情で結ばれているから何とかなっていますが、実際は「悪気なく余計なひと言を言ってしまう」という“ドラえもんタイプ”の人はトラブルを起こしてしまいがちです。

コーチングの方法

まず、本人は「悪気なく」言っているところが特徴です。このような人に対して「もっと相手に配慮した言葉を遣いなさい」など、あいまいな言葉で伝えても「何がいけないのか」を理解することは難しいでしょう。

このような人には、感情的にならず「具体的な言葉で注意を促すこと」が大事です。また、失言の度合いにもよりますが、「〇〇しないでね」よりも「〇〇しよう」と肯定分で言うようにすると相手も嫌な気分にならないのでお勧めです。

社会には「見えないルール」があります。新人さんたちは、これがはっきり分かっておらず困っているかもしれません。そのことを理解してあげることがサポートには重要です。

まとめ

悪気なく余計なひと言を言ってしまう“ドラえもんタイプ”には、具体的な言葉で指摘しましょう。そのとき、なるべく肯定文で指摘することが大事です。



のび太君タイプ

うっかりミス・失敗をしてしまう

キャラクター紹介

のび太君のことを知らない人はいないでしょう。彼はドラえもんの道具を使うと、必ずと言っていいほど騒動を巻き起こし

ます。(まあ、そこがのび太君の魅力なのですが)。かれのような特徴をもつ人には、どのように接したらいいのでしょうか。

のび太君タイプに潜む問題点

のび太君はうっかりなドジが非常に多い性格です。ドブに落ちたり、物を壊してしまうことなど日常茶飯事。道具を使って家も本来の目的を見失ってしまったり、ドラえもんの忠告をすっかり忘れてしまい大失敗をすることもしょっちゅうです。

このようなうっかりミスをすることで失敗をしてしまう新人は多いのではないかと思います。そこで、このような“のび太君タイプ”の相手にどのように接するとよいかを考えていきましょう。

コーチングの方法

このような部下と接するときには、なぜ失敗するのかを考えないといけません。その要因の一つとしては、「一度に複数のことを覚えるのが苦手」という可能性も考えられます。この場合、「Aをやった後、Bをやった」と言うと、どちらかが抜け落ちてしまうことがあります。

そのような新人には、一度にたくさんの指示を与えると「あれもやらなきゃ、これもやらなきゃ」とパニックになったり、指示されたことの一部が抜けてしまうこともあるかもしれません。そのため「指示は一度に一つだけ与えること」や「指示をメモなどにして渡すこと」といった方法があります。また、メモや指示自体を読み飛ばすことがないように「音読させること」なども有効かもしれません。

まとめ

注意力が散漫でミスが多い“のび太君タイプ”の新人は、「一度に複数の指示をされるのが苦手」な可能性があります。そのため、指示はシンプルに行うことや、場合によっては視覚化すると、うまくいく可能性が高まります。



しずかちゃんタイプ

周りの期待に応えようと無理してしまう。

キャラクター紹介

ドラえもんに出てくるヒロイン、しずかちゃん。彼女はピアノを習っているのですが、実はピアノよりもバイオリンの方が好きなのです。では、

なぜピアノの稽古を続けているのでしょうか。そこに彼女の特徴があります。

しずかちゃんタイプに潜む問題点

しずかちゃんは自分の母親が「娘をピアニストにしたい」という夢を持っていることを知っているため、ピアノを頑張っています。しかし、長編作『のび太の日本誕生』ではそれに耐えかねたのか、「ピアノの稽古が嫌になった」と言って家出をしまいました。

コーチングの方法

このような新人看護師に対しては、本人が仕事にどの程度ストレスを感じているのか理解することが重要になります。ストレスの要因を理解するためには「オープン・クエスチョン(Yes, Noなどで答えられない質問)」と「クローズド・クエスチョン(Yes, Noなどで答えられる質問)」とをうまく使い分けることが重要です。例えば、「最近、仕事の調子はどう？」など。

このように、周りからの期待に応えようとし過ぎて無理をしまい、最後にはダウンしてしまいう“しずかちゃんタイプ”の新人は周りにいませんか？」どといった「オープンクエスチョン」はかりでは、相手も「ええ、まあ大丈夫です」としか答えられないでしょう。逆に「仕事たいへんじゃない？大丈夫？」などの「クローズド・クエスチョン」はかりでも、相手の悩みを理解しきれないでしょう。そのため、両者を使い分けることで相手のストレスを理解することが大事になります。

まとめ

期待に応えようと無理をし過ぎてしまいう“しずかちゃんタイプ”には、本人がストレスをどの程度理解しているかを把握するために、2種類の質問を上手に使い分けるが大事です。

◆次号ではジャイアンタイプ、スネ夫君タイプ、ドラミちゃんタイプ、出木杉君タイプを紹介します。